



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場会社名 栗田工業株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 6370 URL <http://www.kurita.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中井 稔之
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 門田 道也 TEL (03) 6743-5013
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 平成24年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	90,236	0.8	10,854	△16.6	11,335	△15.3	4,865	△38.3
24年3月期第2四半期	89,515	2.1	13,017	△2.9	13,384	△3.7	7,881	△3.9

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 5,437百万円 (△22.0%) 24年3月期第2四半期 6,968百万円 (14.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	38 41	—
24年3月期第2四半期	62 23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	268,695	212,884	78.8
24年3月期	271,141	210,002	77.0

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 211,737百万円 24年3月期 208,891百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	20 00	—	20 00	40 00
25年3月期	—	21 00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	21 00	42 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	196,000	1.1	25,000	△14.9	25,700	△15.4	13,600	△17.8	107 37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料5ページの「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料5ページの「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	132,800,256株	24年3月期	132,800,256株
25年3月期2Q	6,141,539株	24年3月期	6,140,839株
25年3月期2Q	126,659,002株	24年3月期2Q	126,660,024株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。なお、連結業績予想に関する事項は添付資料4ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 連結財務諸表に関する注記	11
(6) セグメント情報	12
(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
4. 補足情報	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

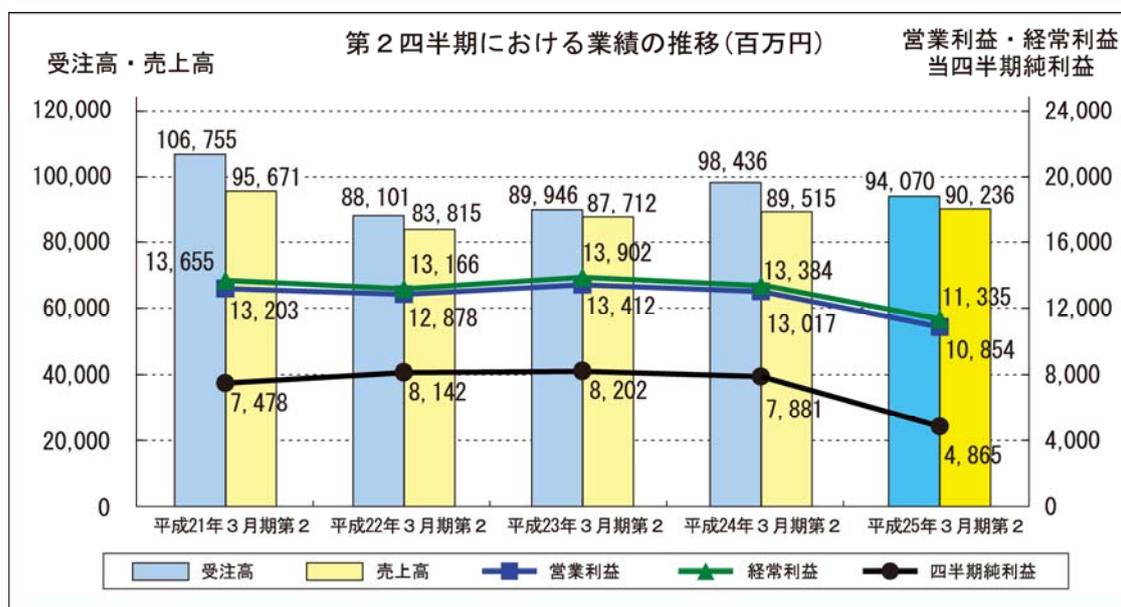
(1) 連結経営成績に関する定性的情報

1) 当第2四半期の概況(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

当社グループをとりまく市場環境は、国内では、東日本大震災からの復興が進む一方、製造業の生産拠点の統廃合や海外移転は継続し、設備投資も低水準にとどまるなど、厳しい状況で推移しました。海外では、長引く欧州債務危機が中国をはじめとする新興国経済に影響を及ぼし、世界的に景気が減速しており、東アジアにおける電子産業の大型設備投資も抑制、延期されるなど、先行きの不透明感は一層強まっております。

このような環境のなか、当社グループは、国内外でグループ内の連携を一層強化し、グループの総合力を発揮して、顧客の生産性向上、環境負荷低減などの課題解決に寄与する提案営業を推進し、受注確保に努めました。

その結果、当社グループ全体の受注高は94,070百万円(前年同期比4.4%減)、売上高は90,236百万円(前年同期比0.8%増)となりました。利益につきましては、営業利益10,854百万円(前年同期比16.6%減)、経常利益11,335百万円(前年同期比15.3%減)となり、四半期純利益は4,865百万円(前年同期比38.3%減)となりました。なお、当第2四半期は、超純水供給事業用設備の一部売却等に伴う特別利益1,184百万円、本社移転に伴う減損損失、投資有価証券評価損等の特別損失3,778百万円を計上しております。



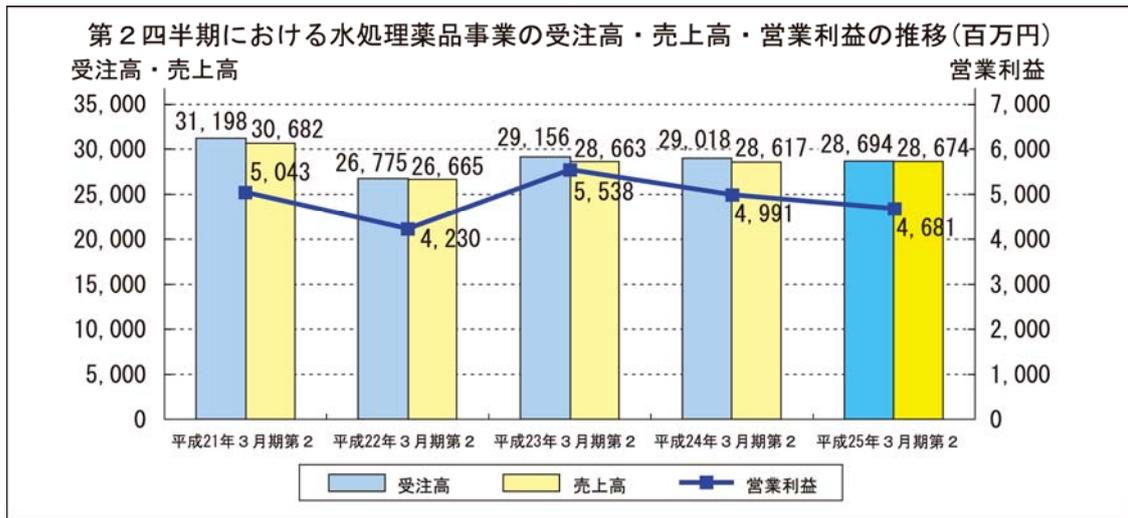
2) セグメント別の概況

①水処理薬品事業

国内では、紙・パルプ向けプロセス薬品やごみ焼却炉向け薬品が受注高・売上高ともに増加しましたが、電子産業及び石油産業分野の顧客工場の統廃合、操業停止等の影響を受け、主力の冷却水薬品は受注高・売上高ともに減少しました。また前年度、震災復旧により増加した機器・役務等の受注高も減少しました。

海外では、中国で堅調に推移したものの、欧州では債務危機による景気低迷の影響を受け、受注高・売上高ともに減少しました。

この結果、当社グループの水処理薬品事業全体の受注高は28,694百万円(前年同期比1.1%減)、売上高は28,674百万円(前年同期比0.2%増)、営業利益は4,681百万円(前年同期比6.2%減)となりました。

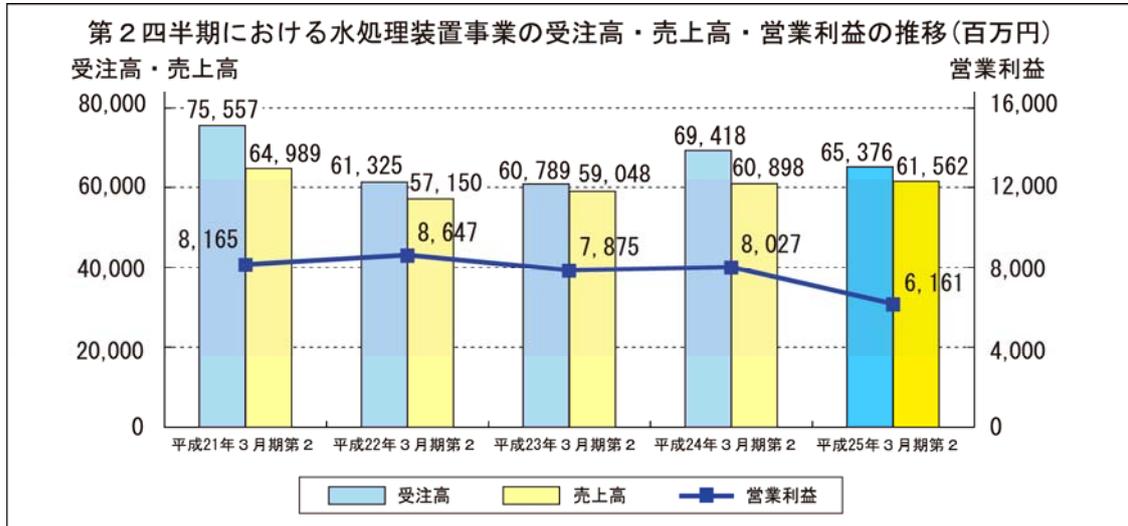


②水処理装置事業

電子産業分野では、国内における超純水供給事業は受注高・売上高とも横ばいとなりましたが、水処理装置、メンテナンス・サービスは、主要顧客の生産設備再編、操業度の低下、震災復旧関連需要の減少により、受注高・売上高ともに減少しました。海外においては、世界景気の減速による一部設備投資の抑制、延期はありましたが、半導体・液晶工場向けの受注高・売上高が増加しました。

一般産業分野における受注高は、震災復旧関連需要の減少、設備投資の低迷により、電力、土壌浄化向けを中心に減少しました。売上高は、土壌浄化は減少しましたが、電力向け水処理装置が震災復旧工事の進捗に伴い、増加しました。

この結果、当社グループの水処理装置事業全体の受注高は65,376百万円（前年同期比5.8%減）、売上高は61,562百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益は6,161百万円（前年同期比23.2%減）となりました。



(2) 連結財政状態に関する定性的情報

1) 資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期末における流動資産は、152,175百万円となり、前期末に比べ7,190百万円増加しました。これは主に有価証券が19,000百万円増加した一方で、売掛金が7,085百万円、現金及び預金が4,740百万円それぞれ減少したことによるものであります。売掛金の減少は、主に前期末の売掛金の回収が順調であったことによるもので、現金及び預金の減少と有価証券の増加は、主に有価証券扱いとなる譲渡性預金での運用増加によるものであります。

固定資産は、116,520百万円となり、前期末に比べ9,636百万円減少しました。これは主に有形固定資産が7,840百万円、投資有価証券が1,714百万円それぞれ減少したことによるものであります。有形固定資産の減少は、超純水供給事業用設備等の減価償却費の当第2四半期連結累計期間における計上額が設備投資額を上回ったことと、超純水供給事業用設備の一部を売却したことによるもので、投資有価証券の減少は、時価下落に伴う評価損の計上などによるものであります。

流動負債は、36,203百万円となり、前期末に比べ6,155百万円減少しました。これは主に未払法人税等が3,269百万円、買掛金が2,578百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は、19,606百万円となり、前期末に比べ825百万円の増加となりました。

純資産合計は、212,884百万円となり、前期末に比べ2,882百万円増加しました。これは主に前期の期末配当金2,533百万円を上回る当第2四半期純利益4,865百万円の計上により利益剰余金が2,324百万円増加したことによるものであります。

2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、12,562百万円となり、前期末に比べ7,263百万円減少しました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、16,613百万円（前年同期比1,631百万円増）となりました。

これは主に税金等調整前四半期純利益8,741百万円、減価償却費7,647百万円、売上債権の減少額7,577百万円などで資金が増加したことに対し、法人税等の支払額7,022百万円、仕入債務の減少額3,108百万円などで資金が減少したことによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、20,585百万円（前年同期比7,858百万円増）となりました。

これは主に定期預金の預入・払戻による差引収入5,968百万円、超純水供給事業用設備の一部売却等による収入3,342百万円があった一方で、有価証券の取得・償還等による差引支出が27,500百万円、超純水供給事業用設備等の有形固定資産の取得による支出1,973百万円などの資金支出があったことによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、3,335百万円（前年同期比493百万円増）となりました。これは主に配当金の支払額2,537百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年10月17日に平成24年4月27日発表の業績予想から修正いたしました。詳細につきましては、平成24年10月17日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

四半期業績の推移は5ページに記載のとおりであります。

(連結業績予想)

平成25年3月期 連結業績予想の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	200,000	29,500	30,000	17,500	138 17
今回修正予想 (B)	196,000	25,000	25,700	13,600	107 37
増減額 (B - A)	△4,000	△4,500	△4,300	△3,900	—
増減率 (%)	△2.0	△15.3	△14.3	△22.3	—
(ご参考) 前期連結実績 (平成24年3月期)	193,792	29,382	30,369	16,548	130 65

2. サマリー情報 (その他) に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

a. 税金費用の計算

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間から、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。なお、これに伴う当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

○参考情報

四半期業績の推移

(単位：百万円)

		平成23年3月期				平成24年3月期				平成25年3月期		
		第1	第2	第3	通期	第1	第2	第3	通期	第1	第2	通期予想
受 注 高	水処理薬品 対通期比(%)	14,550 25.7	29,156 51.4	42,473 74.9	56,714 100.0	14,658 25.8	29,018 51.1	42,330 74.6	56,748 100.0	14,462 25.3	28,694 50.2	57,200 100.0
	水処理装置 対通期比(%)	29,859 23.8	60,789 48.5	83,530 66.7	125,237 100.0	32,295 23.0	69,418 49.4	95,864 68.2	140,507 100.0	30,053 21.3	65,376 46.4	140,800 100.0
	合 計 対通期比(%)	44,410 24.4	89,946 49.4	126,004 69.3	181,951 100.0	46,953 23.8	98,436 49.9	138,194 70.1	197,256 100.0	44,516 22.5	94,070 47.5	198,000 100.0
売 上 高	水処理薬品 対通期比(%)	13,604 24.0	28,663 50.5	42,373 74.7	56,735 100.0	13,445 23.8	28,617 50.7	42,393 75.1	56,443 100.0	13,465 23.6	28,674 50.2	57,100 100.0
	水処理装置 対通期比(%)	25,596 20.6	59,048 47.4	86,863 69.8	124,499 100.0	24,802 18.1	60,898 44.3	91,011 66.3	137,348 100.0	26,807 19.3	61,562 44.3	138,900 100.0
	合 計 対通期比(%)	39,201 21.6	87,712 48.4	129,237 71.3	181,234 100.0	38,248 19.7	89,515 46.2	133,404 68.8	193,792 100.0	40,273 20.5	90,236 46.0	196,000 100.0
営業利益 対通期比(%)		5,267 19.4	13,412 49.4	19,385 71.4	27,131 100.0	4,760 16.2	13,017 44.3	19,586 66.7	29,382 100.0	4,345 17.4	10,854 43.4	25,000 100.0
経常利益 対通期比(%)		5,559 19.7	13,902 49.4	20,115 71.4	28,158 100.0	5,054 16.6	13,384 44.1	20,255 66.7	30,369 100.0	4,592 17.9	11,335 44.1	25,700 100.0
当期純利益 対通期比(%)		3,318 19.4	8,202 47.9	11,984 69.9	17,138 100.0	2,993 18.1	7,881 47.6	10,754 65.0	16,548 100.0	3,510 25.8	4,865 35.8	13,600 100.0

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,902	24,162
受取手形	7,045	6,612
売掛金	59,311	52,226
有価証券	40,500	59,500
製品	1,598	1,347
仕掛品	2,715	3,419
原材料及び貯蔵品	1,209	1,424
その他	3,761	3,530
貸倒引当金	△58	△47
流動資産合計	144,985	152,175
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	28,355	25,267
機械及び装置(純額)	44,779	39,944
その他(純額)	25,233	25,317
有形固定資産合計	98,368	90,528
無形固定資産		
無形固定資産	1,683	1,782
投資その他の資産		
その他	26,443	24,544
貸倒引当金	△339	△335
投資その他の資産合計	26,103	24,209
固定資産合計	126,156	116,520
資産合計	271,141	268,695
負債の部		
流動負債		
支払手形	1,701	1,547
買掛金	19,620	17,042
未払法人税等	7,045	3,776
賞与引当金	2,427	2,757
その他の引当金	1,007	1,148
その他	10,555	9,931
流動負債合計	42,358	36,203
固定負債		
退職給付引当金	10,335	10,576
その他の引当金	168	593
その他	8,277	8,437
固定負債合計	18,781	19,606
負債合計	61,139	55,810

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,450	13,450
資本剰余金	11,426	11,426
利益剰余金	196,541	198,865
自己株式	△9,642	△9,643
株主資本合計	211,776	214,099
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	252	766
土地再評価差額金	△564	△564
為替換算調整勘定	△2,572	△2,563
その他の包括利益累計額合計	△2,884	△2,361
少数株主持分	1,110	1,147
純資産合計	210,002	212,884
負債純資産合計	271,141	268,695

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	89,515	90,236
売上原価	58,226	60,294
売上総利益	31,288	29,942
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	6,544	6,716
賞与引当金繰入額	1,513	1,527
研究開発費	2,065	2,183
その他	8,147	8,660
販売費及び一般管理費合計	18,270	19,088
営業利益	13,017	10,854
営業外収益		
受取利息	52	75
受取配当金	189	187
持分法による投資利益	155	173
その他	135	148
営業外収益合計	533	584
営業外費用		
支払利息	48	48
その他	117	54
営業外費用合計	166	103
経常利益	13,384	11,335
特別利益		
固定資産売却益	—	1,046
閉鎖型適格退職年金制度終了益	—	137
特別利益合計	—	1,184
特別損失		
減損損失	—	※1 1,001
建物解体費用引当金繰入額	—	※2 434
投資有価証券評価損	—	2,343
災害による損失	17	—
災害復旧支援費用	17	—
特別損失合計	35	3,778
税金等調整前四半期純利益	13,349	8,741
法人税等	5,445	3,834
少数株主損益調整前四半期純利益	7,904	4,906
少数株主利益	22	41
四半期純利益	7,881	4,865

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,904	4,906
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,211	514
為替換算調整勘定	248	6
持分法適用会社に対する持分相当額	27	9
その他の包括利益合計	△935	531
四半期包括利益	6,968	5,437
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,927	5,388
少数株主に係る四半期包括利益	41	49

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,349	8,741
減価償却費	7,904	7,647
引当金の増減額 (△は減少)	271	603
有形固定資産除売却損益 (△は益)	7	△1,034
減損損失	—	1,001
投資有価証券評価損益 (△は益)	7	2,343
売上債権の増減額 (△は増加)	1,047	7,577
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,560	△662
仕入債務の増減額 (△は減少)	434	△3,108
法人税等の支払額	△5,817	△7,022
その他	337	526
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,982	16,613
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△19,647	△12,224
定期預金の払戻による収入	27,689	18,192
有価証券の取得による支出	△39,000	△59,500
有価証券の売却及び償還による収入	21,000	32,000
有形固定資産の取得による支出	△2,671	△1,973
有形固定資産の売却による収入	8	3,342
投資有価証券の取得による支出	△6	△6
その他の支出	△319	△508
その他の収入	219	93
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,727	△20,585
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△182	△597
長期借入れによる収入	2	57
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△244	△256
自己株式の取得による支出	△1	△1
配当金の支払額	△2,403	△2,525
少数株主への配当金の支払額	△13	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,842	△3,335
現金及び現金同等物に係る換算差額	47	44
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△540	△7,263
現金及び現金同等物の期首残高	10,834	19,825
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,294	12,562

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

該当事項はありません。

(5) 連結財務諸表に関する注記

(四半期連結損益計算書関係)

※1 減損損失

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

用途	種類	場所	減損損失計上額
遊休資産	建物及び構築物等	東京都新宿区	1,001百万円

当社グループは、事業用資産については事業の種類を基本とし、賃貸資産及び遊休資産については個別物件毎に資産のグルーピングを行っております。当第2四半期連結累計期間においては、事業用資産及び賃貸資産については減損の兆候がありませんでしたが、本社の移転により、東京都新宿区の土地、建物及び構築物等が遊休状態になっております。このうち、建物及び構築物等については、老朽化し、回収可能性が認められないため、その帳簿価額を備忘価額まで減額し、当該減少額を減損損失1,001百万円として特別損失に計上しております。

※2 建物解体費用引当金繰入額

当第2四半期連結累計期間における、旧本社(東京都新宿区)建物解体処理計画の決定に伴い、今後発生が見込まれる費用について、合理的に見積もられる金額を建物解体費用引当金繰入額434百万円として特別損失に計上しております。

(6) セグメント情報

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報
前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水処理薬品 事業	水処理装置 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	28,617	60,898	89,515	—	89,515
セグメント間の内部売上高 又は振替高	197	92	290	△290	—
計	28,814	60,991	89,806	△290	89,515
セグメント利益	4,991	8,027	13,018	△0	13,017

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水処理薬品 事業	水処理装置 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	28,674	61,562	90,236	—	90,236
セグメント間の内部売上高 又は振替高	144	97	242	△242	—
計	28,818	61,660	90,478	△242	90,236
セグメント利益	4,681	6,161	10,842	11	10,854

(注) 1. 調整額のうち、売上高はセグメント間取引消去額であり、セグメント利益は、セグメント間取引消去に伴うものであります。

2. セグメント利益欄は、営業利益の数値であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

当第2四半期連結累計期間の固定資産の減損損失は遊休資産であるため、各セグメントへの影響はありません。

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注高

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	
	金額	構成比	金額	構成比
水処理薬品事業 (百万円)	29,018	29.5%	28,694	30.5%
水処理装置事業 (百万円)	69,418	70.5	65,376	69.5
合計 (百万円)	98,436	100.0	94,070	100.0

(2) 売上高

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	
	金額	構成比	金額	構成比
水処理薬品事業 (百万円)	28,617	32.0%	28,674	31.8%
水処理装置事業 (百万円)	60,898	68.0	61,562	68.2
合計 (百万円)	89,515	100.0	90,236	100.0

(3) 設備投資額 (有形固定資産)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	
	金額	構成比	金額	構成比
水処理薬品事業 (百万円)	667	25.2%	804	28.2%
水処理装置事業 (百万円)	1,984	74.8	2,050	71.8
合計 (百万円)	2,652	100.0	2,855	100.0

(4) 減価償却費 (有形固定資産)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	
	金額	構成比	金額	構成比
水処理薬品事業 (百万円)	563	7.4%	529	7.2%
水処理装置事業 (百万円)	7,015	92.6	6,832	92.8
合計 (百万円)	7,579	100.0	7,361	100.0